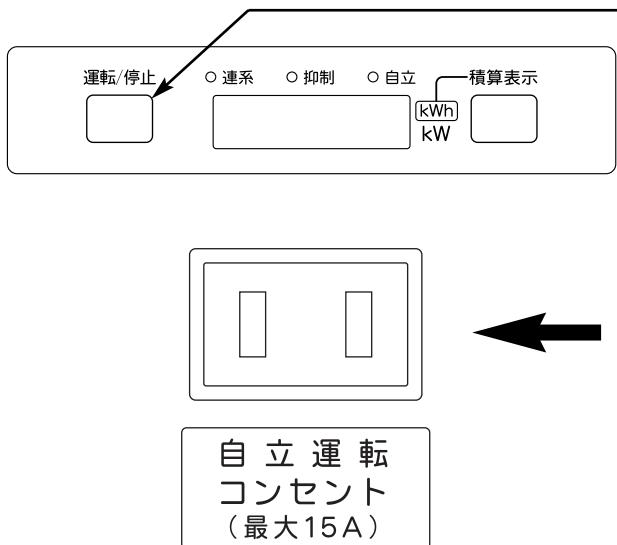


# 停電時の連系運転と自立運転の切り替え

## 連系運転から自立運転にするには

太陽光発電システム専用ブレーカをOFFにすることにより、自立運転に切り換えることができます。自立運転モードでは、自立運転専用コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。

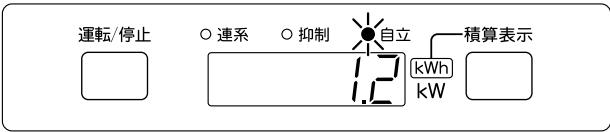


1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する  
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。

2. 家庭用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFFにする

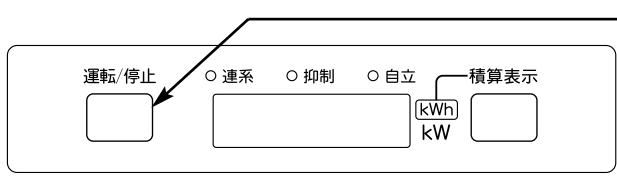
3. **運転/停止** ボタンを押す

表示部の自立ランプが点灯し、連系運転モードから自立運転モードに変更されます。  
約10秒後に自立運転用コンセントにAC100Vが出力されます。



- 自立運転時の電力表示は、自立運転専用コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。

## 自立運転から連系運転にするには



1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する  
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。

2. 家庭用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをONにする

3. **運転/停止** ボタンを押す

表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し（約5分間）その後、連系ランプが点灯し運転を開始します。



### 自立運転時の注意（点検コードは12ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できずに、本体内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、12ページの点検コードをご覧ください。
- 15A以上の電流が流れた場合、本体内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、12ページの点検コードをご覧ください。
- 冷蔵庫のような、連続的に電力の供給が必要な機器には使用できません。
- 最大電力が1,500W以上になる機器には使用できません。
- タコ足配線での使用はおやめください。
- 自立運転コンセントは、最大15A以下でご使用ください。
- 自立運転していても、電気製品を使用していなければ、電力表示は0.0kWとなります。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機など、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れるため、使用できない場合があります。
- 自立運転モードで日没となった場合、翌朝は自動的に連系運転モードが選択されます。太陽光発電システム専用ブレーカがOFFであれば **運転/停止** ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで、自立運転を開始します。

## ●自立運転時の点検コード（パワーコンディショナ側）の内容と処置の仕方 (Fの点検コードのときのみ、ブザーが鳴ります。Eの点検コードではブザーは鳴りません。)

こんなときは再度ご確認ください。(これは故障ではありません)		
E 88 (E1～E14)	運転中に「E88」を検出したとき  自立運転モードで日没を迎えたとき	自立運転モードで、太陽電池の発電量に対して、使用する電気製品の消費電力が極端に大きくなっています。 (太陽電池モジュールの発電量以上の電力が必要な電気機器は使用できません。) 運転/停止ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 81	過電流検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、消費電力の大きな電気製品(入力15Aを超えるもの)を使用していませんか? (運転開始時などに過大な電流が流れる電気製品も含みます。) 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 82	不足電圧検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、太陽電池の発電量に対して、接続されている電気製品の消費電力のほうが大きくなっています。 (太陽電池モジュールの発電量以上の電力が必要な電気機器は使用できません。) 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 83	過電圧検出 (自立運転時)	自立運転モードにて、接続される電気製品の種類等により発生することがあります。 頻繁に発生する場合は、対象となった電気製品の使用は避けてください。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 87	自立リレー接続前不足電圧検出	太陽電池モジュールの発電量が不足している可能性があります。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 88	自立リレー接続前過電圧検出	太陽電池モジュールの発電量が日射急変等によって不安定な可能性があります。 正常に戻れば10秒程度で自動的に運転を再開します。
F 89	「F81」を8回検出したとき	「F81」を8回検出しました。 運転/停止ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 90	「F82」を8回検出したとき	「F82」を8回検出しました。 運転/停止ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。
F 91	「F83」を8回検出したとき	「F83」を8回検出しました。 運転/停止ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで10秒程度で運転が再開できます。

(ご注意) 運転/停止ボタンを押して「運転」にしたとき、連系ランプが点滅する場合は、太陽光発電システム専用ブレーカがONになっていると思われます。もう一度操作に間違いがないか確認してください。  
(10ページ参照)

## ●機器が発生する音について

これは故障ではありません

キュー音	制御電源の起動音です。
ジィージィー音	
チリチリ音	インバーターの高周波スイッチング動作により発生する音です。
チャリチャリ音	
カチッ音	連系用リレーの動作音です。(運転開始時と、停止時に発生します。)

なお、キュー音は朝・夕の日射の少ないときや、太陽電池モジュールが降雪・落ち葉などで覆われていると、しばらくの間発生することがありますが故障ではありません。

## ●機器の温度上昇について

日射が多く、パワーコンディショナが最大電力付近で運転を続けると、機器の上面など部分的に機器が温度上昇(最大70°C程度まで上昇)しますが、故障ではありません。

ボタン部以外は不用意に手を触れないでください。感電・やけどの原因となることがあります。

## ●積雪時の運転について

太陽電池モジュール上に積雪があると、太陽光がさえぎられるため発電量が減ります。積雪量がふえてくるとパワーコンディショナが停止することがありますが、故障ではありません。

太陽電池モジュール上の積雪が減れば自動的に運転を再開します。

# 日時設定

初期電源投入時、日時設定画面が立ち上がります。

停電等で日時がリセットされた場合は「ビー」音(5回)が鳴り、いずれかの操作ボタンを押して、液晶を点灯させると日時設定画面が立ち上がります。

音は設定が完了するまで、1分おきに鳴ります。日時設定の変更は8ページから行ってください。



「」「」の操作ボタンで年を決めて「決定」の操作ボタンを押します。



同様の操作で月、日、時、分を決定します。



設定した日時でよろしい場合は「はい」設定した日時をやり直したい場合は「いいえ」の操作ボタンを押してください。

「いいえ」の場合 からやり直してください。



「もどる」の操作ボタンを1回押すと設定一覧画面、もう一回押すとトップ画面に戻ります。

## 知っておいていただきたいこと

- ・日付をさかのぼっての日付設定はおやめください。  
日付をさかのぼると同じ日付のデータが複数できてしまいます。
- ・日付をまたがない時間に、正しく日時を設定してください。

(ご注意)  
10分程度停電した場合、日時がリセットされることがあります。

# 現在時刻の合わせかた

取付工事時に時刻設定が完了している場合は、あらためて設定する必要はありません。  
設置後、再度時刻設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

## 1. **時刻設定**ボタンを押します。

モニタユニットが通常表示中に**時刻設定**ボタンを長押し（約2秒）すると設定モードになります。

**（ご注意）** ●一旦時刻を設定した後に再度時刻設定の変更をおこなうと、日間、月間、年間、累計積算電力量の値が正しく表示されなくなる（変更前の値とずれる）場合があります。

## 2. 西暦・月・日・午前／午後・時・分の順で現在時刻を合わせます。

●設定モードになると西暦の数値が点滅します。**▼もどる**、**▲すすむ**ボタンで設定したい数値に合わせた後、**時刻設定**ボタンを押すと西暦の数値が確定し、月の設定に移ります（月の数値が点滅します）。

同様に日・午前／午後・時・分の順で設定を行います。（午前／午後は**▼もどる**、**▲すすむ**ボタンを押すと交互にきりかわります。）

●分の設定まで終わると時刻表示部全体が点滅に変わりますので、もう一度**時刻設定**ボタンを押して、現在時刻のセットを完了してください。



西暦の設定

月の設定

日の設定



分の設定



時の設定



午前／午後の設定

時刻表示部全体が点滅します。  
もう一度**時刻設定**ボタンを押してください。

※は点滅を示します。

通常表示

**取付工事のときなどリセットボタンを押した場合**  
(リセットボタンを押したときに抑制ランプが一瞬点灯します。)

●自動的に設定モードになります。

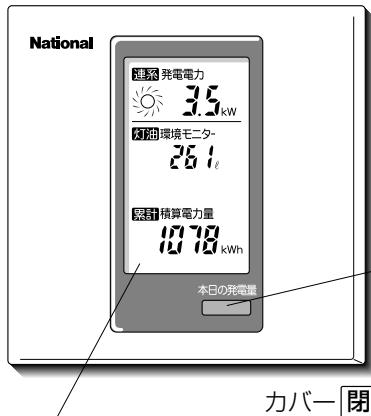
このときの表示は、西暦・月・日・時・分が“—”で表示され、西暦の“—”が点滅します。

●**▼もどる**または、**▲すすむ**ボタンを押すと、“—”が“00”に変わりますので、上記2.にしたがって現在時刻の設定を行ってください。

# モニタユニットのご使用方法(別売品)

## 各部のなまえ

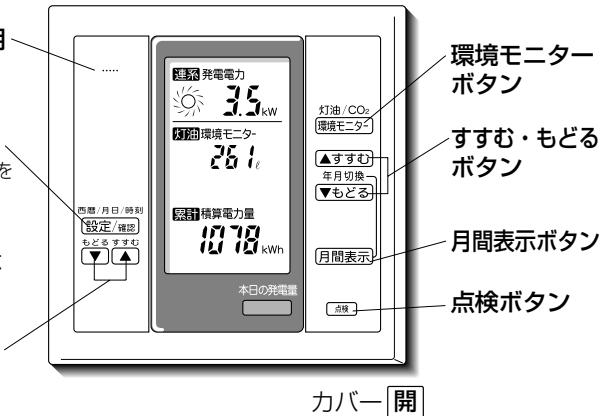
### 通常の状態



#### 表示部

「本日の発電量」ボタンなどを押すと表示部にバックライトが点灯します。夜間でも見やすく便利です。バックライトは約10秒後自動的に消えます。

### カバーを開けた状態



## 現在時刻の合わせかた

### 1. 設定モードにします。

(設置直後の電源投入時、必ずリセット操作を行って下さい。[点検]ボタンと[.....]ボタンを同時に押すとリセットされます。)

通常表示中に[設定/確認]ボタンを押すと現在時刻を表示します。現在時刻を表示中(約5秒間)に[設定/確認]ボタンを押すと設定モードになります。

### 2. 西暦・月・日・時・分の順で現在時刻を合わせます。

[▼もどる]、[▲すすむ]ボタンで数値をあわせ[設定/確認]ボタンで設定します。

分の設定が終わると約5秒後に自動的に通常表示に変わり、現在時刻のセットが完了します。

変更中の数値は点滅します。

(2004年6月12日午後1時にセットした例)

